

令和5年度 大阪教育大学 模擬授業一覧（4月25日現在）

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
1	自己開示・グループワークを通じて自分と相手を知ろう	総合教育系	牧郁子	自分を開示することによって、相手の反応を得ることができます。そして相手の反応を通じて私たちは、新たな自分の側面と出会うのです。本授業では自己開示ワークを通じて、他者から見た新たな自分の発見と相互理解を、体験的に学ぶことを目的とします。	本授業はグループワークを含みますので、それに対応可能な講義室・会場を考慮いただけますと幸いです。
2	教師にまっすぐ2023	総合教育系	瓜生彩子	教職に興味を持つ高校生を対象に、教員の仕事の紹介、教員免許を取得するにあたって総合大学と教職大学の違いから本学の学びの内容など	
3	勉強に活かす心理学	総合教育系	高橋登	勉強しなければいけないのにやる気が出ない。なぜそんなことになってしまうのでしょうか。試験の前の日に限って机を片付けたくなるのはなぜでしょう。みんなが抱えるそんな悩みについて、心理学の立場から考えます。	
4	道徳教育って何？	総合教育系	小林将太	「教科化」が話題となっている道徳教育について、その目的や内容、方法について概説します。	
5	記憶のしくみ	総合教育系	渡邊創太	記憶とはどのようなものであるのか、学習内容を効率良く記憶するにはどうすればいいかについて、心理学の知見を元に概説します。	
6	【ワークショップ】評価実践を活かした探究レポートの改善	総合教育系	森本和寿	担当者はライティング教育研究、教育評価研究を専門としています。近年、ペーパーテストで測れる学力を超えた、より包括的な資質・能力の育成が目指され、探究学習に注目が集まっています。多くの探究学習ではレポートや論文の執筆がアウトプットとして求められますが、生徒にレポートや論文の書き方等を知識として教授しても手ごたえが得られない場合が少なくありません。レポート例（※）を参照して、これを生徒が評価するワークショップを担当者が提供することで、生徒自身に評価の鑑識眼を養う機会を与え、より優れたレポート／論文の書き手となる契機とすることを試みます。	
7	アカデミック・ライティングへのいざない	総合教育系	森本和寿	大学はアカデミックな文章を読み、書くところです。AIの登場で「それっぽい文章を生成すること」のコストが大幅に下がり、書くことの意義が問われています。「私たちは何のために、どのように書くのか」。これは中高生にも関係することです。たとえば、学校教育でも「探究」がキーワードになっていますが、探究した内容をどのようにレポートにしていけばよいのでしょうか。特に実験レポートのようなフォーマットが明確に定まっていない社会科学系や人文系の探究ではどうでしょうか。この授業では、レポート例を用いたワークショップを通して、大学生には（あるいは、これから大学生になる高校生には）どのようなライティング能力が求められているのかを考え、アカデミック・ライティングの入口までみなさんをいざないます。	
9	生涯学習時代の大学入学	総合教育系	出相泰裕	今や社会に出る前に社会人として必要な知識を習得して社会に出ることは不可能となっています。また卒業後就職しても、社会の急速な変容に伴い、同一の職にとどまれなくなり、学び直して自分のキャリアをリセットする必要性に迫られる場面も今後ますます多くなっていきます。 そういった社会環境の中で、学生はどういった意識で大学に入学すべきか？大学生活で身につけるべき資質は何か？教育社会学、キャリア教育、生涯学習論などの視点をを織り交ぜながら、お話をしていきます。	
10	教育協働の仕事とは？	総合教育系	出相泰裕	社会教育の仕事を中心に、教育と他の分野との協働をコーディネートし、学校や地域を活性化する、あるいは人々の生活を支援する教育協働の仕事について事例を交えながら説明していきます。それを通じて、こういった仕事もあるのか、こういった人生もあるのかということを理解してもらい、本学の教育協働学科への関心を高めていきます。	
11	教師の仕事（1コマ40分～50分）	総合教育系	南野起一	教師の仕事について、各自が思いつく仕事を付箋に書き出し、その後、発表。	付箋を活用した作業をしますので、40人程度まででお願いします。
12	心理学から見た学級経営～日本型学級経営と学級崩壊、不登校、いじめ～	総合教育系	水野治久	心理学から見た学級経営～日本型学級経営と学級崩壊、不登校、いじめ～	
13	不登校の児童生徒の心理学～どう援助するのか？	総合教育系	水野治久	現代的な不登校について講義などから学ぶ	音声出力必要
14	構成的グループエンカウンター（SGE）～子どもの人間関係づくり～	総合教育系	水野治久	学校現場で仲間作り、学級経営（クラス作り）の視点から導入されている構成的グループエンカウンター（SGE）を体験します。学級の人間関係をどう作るのか体験します。さらに、SGEを学校現場で導入するときの留意点、効果や限界についてもお話しします。	
17	楽しく英語を発音しよう「English アイウエオ」日本語ネイティブのための「英語発音講座」	多文化教育系	小林翔	現在、英語教育の世界ではWorld Englishes（世界の諸英語）という表現があります。しかし、アフリカの英語、中東の英語も、英語音声のポイントを押さえた上での様々な発音上の特徴を持つ世界の諸英語です。では、日本人英語（日本語に影響された英語発音）とは？英語音声のポイントとは？ノンネイティブのための必要最低限の発音項目リスト「リング・フランカ・コア」を知り、意識して習得しなければならないL、R、F、Vなどの子音の発音方法を理解し、日本語を最大限活用して楽しく英語の発音練習をします。世界の英語の時代においても外せない音声面を中心となる要素を知り、楽に通じる非母語話者的な英語を目指しましょう。	

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
18	「エドテック」technologyを活用した英語授業の可能性	多文化教育系	小林翔	英語学習のさまざまな研究においては、日本の文化的背景や環境、個人の特性などに応じた効果的な方法論が示されていますが、そうした個に応じた教育や協働学習を学校で展開していく上では、デジタル教材がキーになりそうです。この授業では、日本人の英語学習に関する近年の研究内容を解説した上で、それらの知見をベースに取り組みされている大学の英語教育の最新の実践を紹介します。	
19	多様性尊重と社会的包摂の教育論	多文化教育系	萩田直子	すべての子どもを大切に教育とはどのようなのでしょうか。本授業では、大阪教育大学の1年生必修科目「ダイバーシティと教育」の授業内容をもとに、多様な背景をもつ子どもとの関りや、人権を尊重した教育のあり方について解説し、参加者と一緒に考えます。	
20	国語科のアクティブ・ラーニング	多文化教育系	井上博文	物語づくりを通して能動的学習を体験する。	
21	若者言葉の意味論・語用論	多文化教育系	井上博文	若者言葉の意味論・語用論：若者言葉を言語学的に理解する。	
22	文学教育入門：物語の読みの手がかりとその機能	多文化教育系	住田勝	小学校物語教材を用いて、物語を読むときに子どもたちが手がかりにしている表現や構造をあぶり出し、その機能について示します。	
23	哲学資源としての漢文教材、及び学び方の開発	多文化教育系	小路口真理美	対話による思考力（批判的・創造的・ケア的思考力）の育成を、漢文を用いての授業で試みる。形態は、p4c、ジグソー法等である。	
24	英語教師はなぜ文法嫌いで発音嫌いなのか	多文化教育系	寺田寛	日本の英語教育は文法軽視、発音軽視になってしまいました。大学入試共通テストにも文法問題や発音問題は出題されません。授業中に文法や発音の指導は避けられることが多いでしょう。でも、文法や発音のことを知りたい教えてほしいと思っている高校生は多くいます。そういう生徒のために、学校で習わない文法や発音のお話をします。テストでよい点数を取りたい人にはほとんど役に立たないでしょう。	
25	発音のコツ～これだけで英語らしく聞こえる	多文化教育系	箱崎雄子	日本人の英語は、英語圏の人の英語と何が違うのでしょうか？どうすれば英語らしく聞こえるのでしょうか？答えは、英語独特のスピード感、リズムやイントネーションといった「プロソディ感覚」の習得にあります。講義では、少し工夫するだけでグッと英語らしく聞こえる「コツ」を伝授します。	
26	外国語理解の（とりあえず）2つのカギ	多文化教育系	橋本健一	「英語力を伸ばす」というと「話す力・書く力」にフォーカスが当たることが多いですが、言葉によるコミュニケーションでは「読む力・聞く力」もまた重要です。この模擬授業では、外国語を柔軟に理解できる（読める・聞ける）ようになるために必要なことのうち「語彙認知の自動化」と「動詞の文構造情報への習熟」を取り上げて、有効なトレーニング方法について検討します。	プロジェクターを使える環境だとありがたいです。
27	現代における郷土教育の意義	多文化教育系	飯島敏文	郷土に対する愛情や直接的経験を生かした教育の意義を考えます。	
28	直接的経験と間接的経験	多文化教育系	飯島敏文	間接的にしか経験できない多くのことを学習するために、直接的経験を通じた学習がもつ特徴を考察します。	
29	当事者意識を育てる社会科授業	多文化教育系	飯島敏文	子どもたちがよそごととして捉えているさまざまな社会事象に対して、当事者意識をもって認識してもらうことの重要性和手がかりを考察します。	
30	自由について考える	多文化教育系	倉本香	自由に決められることと決められないこと、その違いはどこにあるのでしょうか。また、そもそも私たちは自分の行為について自由に決めることができるのでしょうか。このようなことについて哲学・倫理的に考えてみたいと思います。	
31	ドイツ語のすすめ	多文化教育系	赤木登代	簡単なドイツ語レッスンとドイツ事情。	
32	文学作品の豊かさと読むための視点	多文化教育系	石橋紀俊	日本の近現代文学作品を具体的に取り上げながら、多様な読み方の一端を解説します。	
33	19世紀・20世紀のフランス絵画史	多文化教育系	井上直子	19世紀から20世紀のフランスの絵画の歴史を概観し、新古典主義からシュルレアリスムまで、具体的に様々な作品を見ていく。	
34	フランスの論述教育―「自分」とつながるために―	多文化教育系	井上直子	フランスの教育は、「あなたはどう思う？」「なぜそう思ったの？」ということ問われることから始まります。それゆえ、フランス人は行動する際、他人に合わせることもより自分はどう思うのかを基盤に置きます。こうした教育を紹介し、自分の「本心」とつながるとはどのようなことか、ということを考えます。	
35	ことば遊びへの招待	多文化教育系	小野恭靖	しゃれ・なぞ・判じ絵・回文などの日本語のことば遊びを取り上げ、クイズも交えて講義します。	
36	日本語を楽しむ	多文化教育系	小野恭靖	漢字の音読みと訓読み、漢字の覚え方などの身近な日本語の題材を取り上げて講義します。	
37	大学で「学ぶ」とはどういうことか	多文化教育系	小野恭靖	研究者となった自らの経験をもとに、大学で「学ぶ」との意味と目的について講義します。	
38	外国語としての日本語	多文化教育系	櫛引祐希子	外国語としての日本語をめぐる社会状況や日本語教育の基本的な考え方・方法などについて紹介します。	
39	グローバルとローカルな視点から大阪弁を捉え直す	多文化教育系	櫛引祐希子	日本語教育における大阪弁の位置づけや最新の方言研究で浮き彫りになった大阪弁の新たな一面を紹介します。	
40	日本語教育の中の方言 ― 方言を外国人に教えることについて考える―	多文化教育系	櫛引祐希子	日本語教育における方言（地域語）教育の課題や取り組み事例についてお話しします。	
41	「文化」って何？	多文化教育系	李址遠	私たちが普段の生活の中で何気なく用いている「文化」という言葉の意味について考えます。「文化」という概念を自ら定義してみる活動や、「文化」の捉え方の変遷に関する講義を通して、「文化」という概念に対する理解を深めます。	

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
42	不思議な漢字：ゼロから始まる中国語	多文化教育系	王林鋒	漢字クイズを通じて中国語を学ぶ；「意外に中国語をたくさん知っているかも」と体験させる。	
43	日本語の力で世界のことを学ぼう	多文化教育系	王林鋒	母語の日本語で培われるメタ言語能力を生かして英語以外の複数の外国語を学べる。	
44	中国の社会・教育事情	多文化教育系	王林鋒	激変している中国の事情を紹介したり議論したりする。	
45	衛生手洗いで感染を予防しよう	健康安全教育系	橋弥あかね	通過菌の完全除去を目的としている衛生手洗いを体験しながら、日常の感染予防対策について皆で考えます。	
46	食品や調理、おいしさに関わること	健康安全教育系	井奥加奈	家庭科での調理・食物領域と理科の化学領域（身近な生活の化学：食品化学）に関して	
47	消費者市民社会ってどんな社会？	健康安全教育系	大本久美子	法律に示されている消費者市民社会の定義を説明し、どのような社会づくりがめざされているのを知ったのち、受講者のディスカッションによって消費者市民社会のイメージを共有します。	
48	羊毛を知る	健康安全教育系	山田由佳子	羊毛を使ったフェルト作りを通して羊毛の性質を学ぶ。具体的には、直径1～2cmのフェルトボールの作成とそれを使ったマスコット作り等を行い、羊毛がフェルト化により収縮することについての理解を深める。	
49	住まいの安全・建物の安全	健康安全教育系	碓田智子	ふだんの生活の中で見ることがあってもよく知らない、あるいは気づいていない住まいの安全・建物の安全のしくみについて解説します。	
50	知って得する 住まいとまちのミニ知識	健康安全教育系	碓田智子	住まいやまちについての知識は、引っ越し、家を借りるとき、災害時など、何かが起こったときなどに必要になります。この模擬授業では、住まいのまちについてのミニ知識をクイズ形式で確認します。	
51	消費者市民になるために	健康安全教育系	鈴木真由子	期待される消費者市民の役割や求められる資質・能力などについて伝える。国内の動向だけでなく、海外の情報なども紹介する。	
52	代数学はこのように見えないところで世の中に貢献している	理数情報教育系	馬場良始	「暗号」は現代情報社会を支える最重要事項であり、実は代数学の整数論・群論等の基礎研究の応用でセキュリティの高いものが生み出されている。この模擬授業では、暗号の歴史を簡単にふり返り、歴史的イベントであったRSA暗号の誕生とその仕組みについて解説する。	授業時間は90分必要です。受講生は12ヶタくらいの電卓を持参すること（スマホで、電卓機能のアプリでも可）
53	高校生のための等周問題	理数情報教育系	岡安類	「同じ周長で最大の領域を囲む曲線を決定する」という古典的な幾何学の問題を話題を中心に、数学のジョークを交えながら、高校までの数学と大学からの数学の違いについてまでわかりやすく解説する。中学数学（因数分解や三平方の定理）程度の知識で十分に理解できる内容です。	
54	絶滅危惧植物を育む里草地：大阪府の緑環境と絶滅危惧種のレフィージアとしての都市近郊の里草地	理数情報教育系	岡崎純子	絶滅危惧植物の保全について特に大阪近郊での里草地の重要性とそこに生育する絶滅危惧種の繁殖生態の研究の紹介をする。その内容としては1. 現在の大阪の緑の状況 2. 都市部に創出された里草地環境に生育する絶滅危惧種の紹介をおこなう。	
55	異常気象と地球温暖化 - デジタル立体地球儀で見る私たちの惑星 -	理数情報教育系	吉本直弘	近年、豪雨、干ばつ、熱波、寒波などの異常気象とそれに伴う自然災害が世界で多発しています。これらは地球温暖化によって引き起こされているのでしょうか。地球温暖化のしくみを学び、私たちの惑星の未来について考えます。	
56	台風や大雨による災害から身を守るために	理数情報教育系	吉本直弘	経験したことのない大雨によって発生する気象災害から自分や家族の身を守るために、情報を活用してどのように行動すれば良いのかについてワークショップ（体験型部門）を通して考えます。	
57	共有結合って何だろう ～どうして化学を学ぶことが必要なの？～	理数情報教育系	種田将嗣	学校ではたくさんのお話を学びますが、それを学ぶと将来どのようなことに役立つのかということ、教える立場の先生は知ってはいなくてはいけません。化学で共有結合というものを学びますが、これを学ぶことが何の役に立つのか。その一例を、簡単な模擬実験を交えつつ解説します。物質の色、光の三原色などに興味がある方にお勧めです。	
58	星の一生	理数情報教育系	松本桂	星座を作る星（恒星）は有限の過去に誕生し、寿命もあります。星はどのようにして生まれるのか、寿命の長さは、星は死ぬとどうなるかなど、星の一生について解説します。また星は様々な元素を合成する工場であり、地球上の生命体を構成する元素もかつて星の内部で作られました。宇宙において星が存在する意味を考察します。	
59	宇宙の階層構造	理数情報教育系	松本桂	天文学には様々な天体が登場しますが、それらが宇宙空間の中でどのような位置づけにあるのか、宇宙の構造や天体の距離感について概説します。その結果、宇宙における地球の位置づけも理解できます。	
60	ブラックホールの世界	理数情報教育系	松本桂	「ブラックホール」ほど広く一般に普及している科学用語は珍しいと思われず。ブラックホールとは、一旦その内側へ入ると光すら出てこれなくなる領域を持つ暗黒天体です。一般相対性理論から予言されて以来、物理学や天文学の研究対象となっており、たとえば2020年のノーベル物理学賞はブラックホールの研究に対して与えられました。私の普段の研究対象にもブラックホール天体は含まれています。そんなブラックホールについて、その研究の歴史から最新の話題までを概説します。	
61	宇宙観の変遷の天文学史	理数情報教育系	松本桂	かつては地球が世界（宇宙）の中心にあると素朴に考えられてきましたが、宇宙の観測による天文学の進展と我々の理解の変遷は、地球を特別な地位から遠ざけてゆく宇宙観の歴史でした。どのような変遷を経て現在我々が知る宇宙の構造がわかってきたかについて概説します。	

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
62	最新宇宙論	理数情報教育系	松本柱	この宇宙は永遠不変なのでしょうか。20世紀にもたらされた物理学や天文学の偉大な知見により、宇宙は有限の過去に始まり、現在も変化を続けていることが明らかになりました。宇宙の現在までの歴史（過去）、およびこれから宇宙はとなると考えられるのか（未来）について概説します。	
63	「客星」の正体	理数情報教育系	松本柱	星の世界は人間の時間感覚に照らすと不変のようにも思えますが、古典文献にはしばしば夜空に突然現れる星「客星」の記録が残されています。それらが現在の理解ではどのような天体だったのか概説します。また過去の天体現象の記録が現代の天文学において活用される例を紹介しします。	
64	児童・生徒が主体的に取り組む理科授業・理科実験とは 一導入の工夫一	理数情報教育系	日高翼	「どうすれば教え込みにらずに済むだろう」、「どのように主体的な学びを引き出せばよいのだろう」、小・中学校の教員や、教員を目指す高校生向けに具体的な実験や方法を解説します。	
65	科学者の視点に立って仮説を立ててみよう 一科学的探究の第一歩一	理数情報教育系	日高翼	新学習指導要領でさらに重視された科学的探究のプロセスについて理解するための第一歩を、中学生、高校生向けに解説します。	
66	惑星物質科学入門ー隕石を見てみようー	理数情報教育系	平川尚毅	私たちの太陽系はいかに進化して現在の姿になったのか、実験や探査、シミュレーションなど様々な立場からの解明が試みられています。隕石などの地球外物質を分析するというアプローチもその一つです。地球上の火成岩を調べればマグマの性質や冷え方がわかるように、また堆積岩を調べれば海底の堆積環境がわかるように、隕石を調べることでその故郷の天体の環境や、さらには小天体が形成される前の初期太陽系の歴史を遡ることもできるはずというわけです。では一体どのようにして隕石から情報を読み解くことができるのか。本講義ではその解説とともに、実習を通して太陽系のスケールや隕石の中身についても知ってもらいたいと思います。	
67	シャーロック・ホームズが理科室にいたので驚いた・・・	理数情報教育系	串田一雅	ホームズの推理は、理科にも通用するのか・・・推理の力で理科を見通しよく理解しよう！！	
68	体験しよう！かがく実験	理数情報教育系	久保堃公二	化学薬品を使った「あぶり出し」と「簡易温度計」を体験し、金属イオンにおける化学反応や金属イオンを含む化合物（金属錯体）の構造と色の関係について学びます。	
69	香料から液晶テレビまで ～鏡像異性体と旋光・そして未来のテレビ～	理数情報教育系	堀一繁	高校「化学」の学習内容「光学活性化合物」や「芳香族化合物」が、現代社会を支えるハイテク素材に使われていることについて解説し、高校化学の学習内容が、現代科学・技術に密接に繋がっていることを理解してもらおう。	
70	論理と数理パズル	理数情報教育系	町頭義朗	数理パズルを通して、数学的帰納法、背理法、合同式などの数学に不可欠な論理を学ぶ。	
71	今さら考えるインターネットのしくみ	理数情報教育系	三島和宏	もはや社会にとってなくてはならない存在となったインターネット。インターネットは世界のすみずみでちょっとした問題があっても、全体としては何事もないかのように動く。そのインターネットがどう動いているのか、そこにあるものや強さは何か、などを今改めて考えてみたいと思います。	
72	Wi-Fiの世界を探る	理数情報教育系	尾崎拓郎	私たちの生活にWi-Fi（無線LAN）は欠かせないものとなりました。普段何気なく使っているWi-Fiについて、基本的な事項を抑え、今後それらのサービスを安全に利用する上で抑えておきたい事項を実習を踏まえながら講義を行います。（スマートフォン/タブレット端末/ノートPCがあれば実習環境を構築できます）	
73	人の能力を拡張する道具との関わり方	理数情報教育系	山本良太	当たり前のことですが、人は様々な道具を用いて生活しています。これは裏を返せば、道具がなければ人は今の生活を維持することができないということでもあります。その意味で、道具は人の能力を高めてくれるものです。様々なテクノロジーが開発され、新しい道具が生み出されていますが、それらはわたしたちのどのような能力を高めるのでしょうか。この問いに正解はありません。模擬授業を通じて皆さんとともに答えを考えてみたいと思います。	
74	「一億総AI・データ活用時代に必要なスキルとは」 「（普通科教育における）AIとデータサイエンス」 「（普通科教育における）プログラミング的思考」 「イノベティブシンキング」	理数情報教育系	安松健	専門教育ではなく、普通科を対象とした、AIとは何か、データサイエンスとは何か、プログラミング的思考とは何か、について、講義、およびグループワークにて実施する。	
75	AIとデータサイエンス、プログラミング思考、イノベティブシンキング（クリエイティブ思考、デザイン思考）、クリティカルシンキング	理数情報教育系	安松健	高校文系数学までの知識で（プログラミング言語の知識や統計解析の知識がなくとも受講できるような）、AIやデータサイエンスやプログラミング思考の授業を行う。授業中も、プログラミング言語や数式などは使用せずに、文系学生にも、AIやデータサイエンスの重要性、または活用方法を紹介する。また、いわゆる企業研修で行うようなイノベティブシンキング（クリエイティブ思考、デザイン思考）や、クリティカルシンキングの授業も可能。	
76	教育の方法と技術ー新しい教育のステージへー	理数情報教育系	若杉祥太	【教員志望者向け】教育の情報化の進展に伴う新しい指導方法が学習の在り方などを体験的に学ぶ。また、大学での勉強や進路選択の方法をお話します。	普通教室、多人数可能
77	Society5.0とデータサイエンスの世界	理数情報教育系	若杉祥太	様々な情報技術やビッグデータがあふれる社会において、経済発展や問題解決にはデータサイエンスを活用する力が求められます。日常社会のビッグデータを用いて体験的にデータサイエンスを学びましょう。	PC教室、普通教室の場合は体験的な学びなし

整理番号	タイトル	講師所属	氏名	内容	備考
78	プログラミングをしよう	理数情報教育系	若杉祥太	簡単なゲームアプリのプログラミングを通じて、アイデアを形にするプログラミングの思考を体験的に学びます。	PC教室
79	音楽を“ゆる～く”哲学しよう【高校生バージョン】	表現活動教育系	吉野秀幸	自分は音楽が好きで、演奏したり聴いたりして日々音楽に触れている。そうすると心がウキウキし、どことなく豊かな気持ちになる。しばしば大きな感動を感じることもある。いったい音楽の正体とは何だろう。それを知りたいのだが、そうかと言って専門書を繙くのも少々ハードルが高い気がする。でもそれを探してみたい、是非突き止めてみたい。このような思いに応えるために、音楽について語っている哲学者や思想家の考えをごくごくわかりやすく、かみ砕いて紹介する。それらを通して、一人ひとりがながしかなに落ちる言葉を見つけてほしい。	
80	音楽の正体とは何か	表現活動教育系	吉野秀幸	音楽とは楽譜でしょうか、それとも作品でしょうか。いいえ、違います。楽譜や作品を前提にしたとたん、とても難しく、遠い存在になってしまいますね。むしろ音楽とは、私たちの身近に発生し、その場に居合わせる人々に共有されるものなのです。本授業では、音楽が「いま」「ここで」生まれる現場を体験することを通して、音楽の正体を探っていきたくと思います。	
81	彫刻体験：「粘土と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	普段なかなか体験できないようなスケールの量の粘土を使った、少し本格的な彫刻制作を通して、からだ全体を使った彫刻制作の楽しさを体験する。また、型取りなどの実際を紹介する。	
82	彫刻体験：「石と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	普段なかなか体験できないようなスケールの大きな素材・工具などを使った、少し本格的な彫刻制作を通して、からだ全体を使った彫刻制作の楽しさを体験する。	
83	彫刻体験：「鉄板で鏡を作ろう！或いは、鉄と格闘しよう！」	表現活動教育系	加藤可奈衛	素材としての鉄を知り、錆びた鉄板をびかびかになるまで（顔が映るまで）磨いてみる。また、簡単な工具などを使った少し本格的な鉄の彫刻制作を通し彫刻制作の楽しさを体験する。	
84	コラボレーションアートに挑戦しよう！	表現活動教育系	加藤可奈衛	現代アートの一端に触れていただきながら、コラボレーション・アートに挑戦します。普段なにげなく使っているお皿を使った作品など、五感全体を使ったアートの楽しさを体験する。	
85	エコなアートに挑戦しよう！	表現活動教育系	加藤可奈衛	現代アートの一端に触れていただきながら、環境を意識した素材などを使ってエコアートに挑戦します。環境に優しい素材の可能性を一緒に体験します。	
86	上代用特有の仮名の線の書き方について	表現活動教育系	出野文莉	甲骨文の成り立ちや内容の説明を行う。成り立ちの理解できた象形文字を筆で書いてみる。古代人の追体験を行って、古代人の考えていたもの感じていたものに思いをはせながら、筆で自分の思いを表現してみる。	
87	芸術書道の授業「かな文字を使って俳句を書いてみよう」	表現活動教育系	瀬川賢一	基本的なかな文字の線の書き方、文字の造形の取り方を学び、俳句を土のように書くとき美しく書けるかを考え作品制作を行う。	
88	小中学校「書写」の授業	表現活動教育系	瀬川賢一	どんな児童、生徒でも、「分かった、出来た」と体感できるような授業の創り方について	
89	高等学校芸術書道「かな」の授業	表現活動教育系	瀬川賢一	上代用特有の仮名の線の書き方について	
90	粘土を使った立体表現。陶芸作品にチャレンジ	表現活動教育系	谷村さくら	粘土は美術教育においてよく使われる素材です。切ったりちぎったりくっつけたりと加工が比較的簡単で、力の弱い子どもの手でも活動しやすいのが特徴です。模擬授業では、自分の体を使った器をつくり、後日焼成してお渡しします。つくった後使う楽しみがあるのは工芸作品の一つの魅力です。	
91	文化としてのスポーツ	表現活動教育系	太田順康	スポーツ基本法の前文には「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」とある。また保健体育科で「文化としてのスポーツ」を学習することになった。この世界共通文化のスポーツの意義・意味・成り立ちを解説し、スポーツをする人、見る人、支える人の育成に寄与する。	
92	熱中症と水分補給	表現活動教育系	鉄口宗弘	現在、多くの方が夏場に体調を崩し救急車で運ばれています。特に暑熱環境下での運動・スポーツ活動時においては身体への影響は大きく、熱中症により様々な症状が出るほか、生命が危険にさらされることもあります。本講義ではその熱中症についての基礎知識と、熱中症を予防する方法、特に水分補給の仕方について講義します。	
93	運動生理学の講義	表現活動教育系	鉄口宗弘	本講義では、それぞれが興味を持つ運動時の生理的変動等を大学で実際に行っている授業を切り取り講義します。例えば、筋収縮のメカニズムと様式、筋力トレーニングの基礎、酸素摂取量と無酸素性作業閾値、呼吸・循環器の応答、随意運動と反射、等々。	
94	歌唱指導とアンサンブル	表現活動教育系	浦田恵子	基礎的な歌唱のトレーニングや、わらべうたを使ったアンサンブル等を行い、声の可能性について体験していただきます。	
95	「教育現場での即戦力となるピアノ演奏技能とは」	表現活動教育系	平井裕也	教育現場での即戦力となるピアノ演奏技能について、授業以外の学校行事や学級活動で行われる音楽活動の実践例を挙げ、具体的な教育場面に合わせた技能レベルや内容を考察させる。また大学でのピアノ実技レッスンも体験する。	